



2023
June&July

自然栽培パーティ通信



ズッキーニ採れすぎて
ひとまず笑うしかない号

全国のパーティの活動

特別インタビュー 千葉大学 吉田行郷教授
教えて今枝さん！慣行栽培/有機栽培/自然栽培の違い
Shizen Saibai in Full Bloom ~サキと外国語で耕す世界の畑~
自然ってすごい！さつまいものツルと葉っぱを食べる/バケツ稲作
自然栽培七転び八起き おもや
若者が行く！パーティの魅力発見記 ハーブ農園PAYSAN 澤邊さん
お知らせ

全国のパーティの活動



北海道から沖縄まで、全国各地に仲間がいる自然栽培パーティ！
「パーティ」には「仲間」という意味もあります。
各会員が日々農業に励んだり、仲間同士でつながったり、加工や販売を協力したりと、
ちょっとずつ広がっているパーティの輪。そんな全国の仲間たちの活動を紹介します！

ハーブ農園PAYSAN

つばさむすびや

石川

6月末に栽培リーダーおよび希望者で石川県に訪問し、ハーブ農園PAYSANと、つばさの圃場を視察しました。
干潟という面白い地域で、農福師の皆さんがとても楽しそうにハーブを摘んでいました。
つばさむすびやでは、畑と味噌の加工場などを見せてもらいました。今年は「味噌づくり大作戦」をいんぼうワークスの田中さんがリーダーとなり、自然栽培パーティオリジナル味噌を商品化する予定です！
北陸という豪雪地域でどうすれば自然栽培パーティが広がるか、有意義な意見交換ができました！



映画にも登場したつばさの田んぼ

今年のフォーラムは金沢で！

12/15～16で金沢での実施を計画しています。詳細は決まり次第お伝えします。



畑でかがやく農福師



商工会青年部の一員としても活躍している岡さん。各地区で開催される祭りも積極的に参加しています。さて畑では「僕は森が好きだー！」と畑の隣の森に入って木を伐採し、畑で使用する支柱を制作。ほとんどの支柱は岡さんが準備してくれています！
また昨年からのナス科の種取りを覚え、現在自宅の庭で栽培チャレンジ中です！しかし、自分で種を蒔いたのを忘れて「この芽はなんでしょう？」と質問をしちゃったことはここだけの話…
また、最近「林業やりたい」と言ったりと、興味がつきない岡さん。
今後も農福師としての活躍に期待です！

つばさむすびや

岡知樹さん
おかつともき

5.6カモミール収穫などを行いました！



ペザン

5.21さつまいも苗植えやりました！



無門福祉会

秋にさつまいも収穫実施予定！

はるかす

国分ほのぼの

鹿児島

ヤマトボランティアプロジェクト

ヤマトグループが地域の福祉施設と交流を深めていくヤマトボランティアプロジェクト。2019年から自然栽培パーティの農作業も手伝っていただき、全国各地で輪が広がっています。今年は新たに鹿児島の国分ほのぼの、福島県のごころんがスタートしました。

6/10、ほのぼのへ31名の方に来ていただき、じゃがいもの収穫を行いました！生憎の雨でしたがたくさん収穫でき、じゃがバターやBBQ、お弁当をみんなで楽しく食べました！ほのぼのの農福師も緊張した様子でしたが、ボランティアの皆様と作業ができ、とても充実した表情をされていました♪♪次は、10月にさつまいも収穫！収穫量アップを目指して、管理を必死にやっています！
いきたいと思います！！
(久木元)



花*花 愛知

映画上映&すぱっつライブ

7/22名古屋で上映会を行いました。映画以外にも、主題歌を歌う「すぱっつ」によるスペシャルミニライブも！ちなみにすぱっつは日程が合えば旅費交通費+美味しいご飯でライブしに駆けつけてくれるそうですよ。

出演依頼待ってます！





会員限定情報

奇跡のりんご畑で袋掛けのお手伝い

6月に自然栽培パーティの有志が青森県弘前にある名誉顧問の木村先生のりんご畑に行き、袋掛けのお手伝いをさせていただきました。今年から自然ファームハレトケの山根さんに引き継がれたりんご畑。自然栽培パーティでも協力して、美味しい自然栽培のりんごが育つようにこれからも微力ながら応援していきます！



りんご畑
青森

菜の花

群馬

埼玉福興

埼玉

Bamboo Village Farm

東京

一反パートナー

「一反パートナー」とは企業の社会貢献として、自然栽培の田んぼや畑での活動を一反単位で支援してもらうプロジェクト。6/17にカシオ計算機さんが菜の花へ、シナネンホールディングスさんが、6/17に埼玉福興と7/28にBamboo Village Farmへ、従業員の方とご家族がそれぞれ田植えや野菜の収穫に来てくれました！農福師とともに楽しみながら、秋には美味しいお米や野菜が食べられるようにとみなさん一生懸命作業してくれました。



畑でかがやく農福師

「大きくなあれ！大きくなあれ！」野菜に語りかけるように、水やりをするのが得意なノブくん。元々、農業が好きで他の事業所でも農作業に取り組んでいました。縁あって、ぽかぽかワークスにきてからは「自然栽培」に挑戦！！日差しも気温も厳しい真夏の日中を乗り越えるため、今年は、自前のサングラスと空調服を用意。「塩飴いる？」とみんなの健康にも気遣いながら、農作業に取り組んでいます。

実は、グループホームでも自分で開墾し、自分の畑を作り、ナスやトマト、サツマイモなどを植えて育てています。

「大きくなあれ！大きくなあれ！」ノブくんが唱えると、自然と植物も生長するから不思議です。

先日は、つばさの会むすびやの農福師の岡さんとzoomで農業からゲームに関する対談もしました。

今は農業機械に興味があり、いつか「スパイダーモア」を任せられる農福師を目指して、今日も除草作業に取り組んでいます。



やまぎし のぶたか
山岸信崇さん

ぽかぽかワークス

ぽかぽかワークス

愛知

みんなで未来をつくろ米Project

1300年前から米作りをしていたものの、その多くが休耕地となっていた名古屋の供米田という地区。都市農業を守っていくためにも地域と一緒に米作りをおこなおう！ということでぽかぽかワークスが2年前から地域の子もたちと一緒に田植えから収穫体験までを行っています。ネーミングの由来は名古屋弁の「つくろまい（作ろうよ）」を掛けて「つくろ米プロジェクト」。今年は地域の社会福祉協議会、子ども食堂、小学校のPTA、一般社団法人などと共に実施し、およそ250人が田植えに参加してくれました。泥だらけになりながら楽しそうに田植えをする様子は、ぽかぽかワークスのyoutube動画から見るができますよ！



田植え編



ザリガニ釣り編

農福連携研究の第一人者である千葉大学教授の吉田行郷先生に、自然栽培パーティの取り組みや、今後の農福連携の可能性についてのお話を伺ってきました。

インタビューアー 森田早紀
カメラ 下田あかり

自然栽培パーティと 農福連携の可能性



「...more」を含む全文は
こちらのQRコードから読めます！

— 吉田先生、今日はよろしくお願ひします。吉田先生のことを知っている読者さんも多いと思いますが、改めて自己紹介、特に農福連携に関わるようになったきっかけのお話について、お願ひします！

そうですね、もともとは農林水産省で行政官として働いていて、その頃に生まれた子どもが自閉症と診断されたんですね。そこで人事に相談して、勤務時間の融通が利く同省の研究所に移らせてもらいました。

最初は国産小麦の研究をしていたのですが、ある日テレビを見ていたら、重度の障害のある方々が農業で生き生きしている取り組みが特集されていて。ああ、こういう世界があるのか！と。

農業の仕事はずっとしてきて、自分の息子に障害があって、両方の世界が分かる僕みたいな人間がこの研究をしたらきっと役に立てるのではないかと、思って農福連携の研究を始めました。当時は研究している方もほとんどいなかったんで、まずは研究仲間を募るところからのスタートでした。

...more

— 長年研究されてきて、今後の農福連携の可能性はどこにあるとお考えですか？

今の僕のキャッチフレーズは「働ける障がい者のための農福連携から、働けない障がい者のための農福連携へ」。そんな波がぐぐーっときてますね。というのも、働ける障がい者のための農福連携は、各地で上手く回りだしてくれているので、もう僕が何かしなくてもいいかな、という感じですよ。

これに対して、オランダで2万人が使っているケアファームのような、働けない人たちのための農福連携は日本ではまだまだです。日本の人口に換算すると15万人規模の潜在的なニーズがあるはずなのに、国内の取り組みを探しても少ししか見つからない。なぜかといえば、ひとつは活動資金の問題があります。 ...more

そんな感じで、働けないとしても豊かな人生を送るための農福連携の可能性は高いし、ニーズもあると思っています。 ...more

— 話は少し移るのですが…自然栽培と農福連携の親和性は感じていますか？

僕はいつも、有機栽培も自然栽培も、農福連携との親和性が高いという話をしています。まず農薬を使わないから危なくないというのがありますね。それから農薬を使わない分、人海戦術になる訳ですけど、人手不足はない。あと、障害のある方たちって自然に近いものに敏感な気がするんですね。だから、より自然に近い形の農業の方が、人工的に肥料や農薬などで効率的にやりましょうという農業よりも相性がいいのではないかと、思っています。実際に有機や自然栽培でやっている現場も多いわけで。

ただし、何が何でも自然栽培、有機栽培で押し通すというのは、ちょっと厳しいときがあるように感じています。

...more

— 自然栽培パーティのこれまでについて感じていることを教えてください。

一時期、会員数が停滞した時はちょっと心配しました。でも最近、レベルの高い栽培指導など技術サポートがしっかりしてきたおかげで、地に足の着いた自然栽培をやっている取組が増えてきているように感じています。 ...more

— 今の吉田先生にとって、これこそが！という農福連携の本質をワンフレーズでお願いします。

障がい者を応援しようと始まった取組なので、やはり、「障がい者ファースト」という点は大事にしたいですね。

...more

— 最後にパーティの皆さんにメッセージをお願いします！

いつもパーティ新聞やコトノネに掲載されてる農福師の話を楽しみにしています！皆さんの活動を色々な場で見せてもらって元気をもらっているんで、今後も面白かったこと、楽しかったこと、素敵なエピソードをいっぱい届けてくれたら嬉しいです。

慣行栽培/有機栽培/ 自然栽培の違い



今枝稚加良さん

自然農福の力代表
自然栽培パーティ栽培リーダー



最近どこに行くにもキャベツ帽を被っている今枝です。

キャベツ帽を被るといいことがたくさんあります！

まず利用者さんや子どもが面白がって向こうから来てくれて、すぐ仲良くなれます。大人に対する講義など難しい話でも、帽子をかぶっているだけで集中して聞いてもらえます。さらに先日は寄付金の選考会に行きましたが、帽子のおかげで本気度が伝わったようです。

何か装いを変えてみたり、頭に何か載せてみたりするだけでいいことがいっぱい！

みなさんもやってみてはいかがですか？

「自然栽培」を選ぶ目的はなんですか？

さて、それでは本題に。

これを読んでいるみなさんは自然栽培を行っている人や、行いたいと思っている人、できるだけオーガニックの野菜を買ったり食べたりしたいと思っている人がほとんどかと思えます。

それでは今自然栽培に取り組んでいる方に質問です。**なぜ自然栽培を選ぶのでしょうか？**

環境に良くないものを使わないから、利用者さんも安心して作業できるから、健康にもよいから、虫や鳥の多様性にも寄与するから・・・みなさんいろんな理由があるかと思えます。どれも間違いではありません。

今日はそれとは別の視点から自然栽培を見つめることで、改めてみなさんが自然栽培を選ぶ理由を考えて欲しいなと思います。



一般的な栽培方法の違い

農業には大きく分けて「慣行栽培」「有機栽培」「自然栽培」の3つの栽培方法があります。まずはこの3つの栽培方法の違いについて話していきたいと思います。

ご存知の方も多岐にわたるかもしれませんが、一般的にはこのように説明されます。

慣行栽培

農薬、化学肥料、除草剤などを使用した栽培法

有機栽培

化学的な農薬や肥料を使わない有機JAS認証を得た栽培法

自然栽培

肥料、農薬、除草剤を使わない栽培法

しかし、これは手段=「どうやって育てるか」の説明であって、目的=「どんな野菜を育てたいか」とは違います。そこで、化学的に見た時の「味と収量」という切り口で改めて栽培方法の違いを解説します。

「味」で考えた時の栽培方法の違い

「どんな味のする野菜を育てたいか」で選択する栽培方法は変わってきます。

それぞれの栽培の特徴として3つの要素があります。それは「甘味」「うま味」「収獲量」です。

化学的には、そのすべてを十分には得ることはできず、3つのうち2つを得ることができます。

慣行栽培

うま味

甘味

地域特産品「ルネッサンストマト」のように、味の違いを売りにしたいときには向いています。

有機栽培

うま味

甘味

「甘味」を高く出せる有機栽培は「糖度15度以上を保証」する商品など、「甘味」の勝負に強いです。

自然栽培

うま味

甘味

「収獲量」が少ない代わりにその野菜本来の「甘味」と「うま味」を得られ、野菜の本当の美味しさを得られます。

つまり「甘みがあってたくさんとれるもの」「うま味があってたくさんとれるもの」を作りたい場合、自然栽培ではない栽培方法を選択した方がいいのかもしれませんが。

もちろんこれらは化学的に見て、すべて同じ条件で栽培した場合になります。実際はその土地の条件やその人が持っている栽培技術などによって結果は変わってきます。

みなさんはどんな野菜をつくりたいですか？一度目指す野菜を想像してみてください。

美味しいは多くの人を幸せにしてくれます。

私たちは自然栽培パーティとして人が笑顔になる美味しさを求め、土と対話し学んでいきたいです。

Shizen Saibai in Full Bloom

----- サキと外国語で耕す世界の畑 -----



さすらいの百姓 サキ
オランダの大学で農業を学び、現在は熊谷を拠点に地理的に、そして分野的にもさすらう。最近は野菜農家もやっている。



みのり彩園 柳瀬さん
自然栽培パーティの理事であり、北海道の栽培リーダー。前職は看護師。愛犬は柴犬のモモちゃん。



柳瀬さん

ねえねえサキちゃん、オランダ語で表すと面白い野菜の名前、教えて！

やっぱり一番に紹介したいのは、**aardappel** (アーダッポー) かな。直訳すると**大地のリンゴ**で、ジャガイモのことです。



サキ



柳瀬さん

アーダッポー！いいねえ〜。早速使ってみよう。他には？

ニンジンはいくつか名前があるのですが、葉なしのものは**wortel** (ウォートー) って呼ばれてます。これ、「**根っこ**」という意味なんです。



サキ



柳瀬さん

えっ、そのまんまじゃん。(笑)

でも日本語だって、「大根」って使いますよね。大きい根っこ、そのまんま(笑)ちなみに、オランダでも「**daikon**」で通じるんですよ。



サキ



柳瀬さん

そうなんだ〜！他にも日本語のまま通じる野菜ってあるのかな？

う〜ん、これは日本語のままと言えるのかわかりませんが...**Hokkaido!!!**



サキ



柳瀬さん

??? (...サキちゃんは何を言っているのだろう?)



aardappel



wortel



daikon



hokkaido?

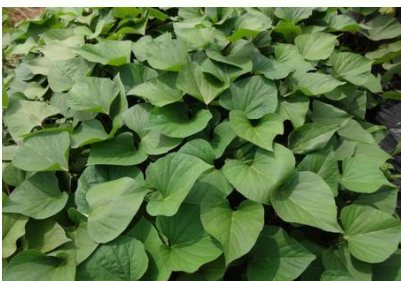
8/6に北海道で自然栽培パーティ感謝祭が開催されます！また、さすらいの百姓・サキは8月下旬から3週間、農福連携や自然栽培などの視察にオランダへ行ってきました。応援するよ！という方は、北海道の感謝祭とオンラインショップで販売するオランダチャリTシャツをぜひ手に取ってみてください。「Hokkaido!!!」で何を言いたかったのかも分かるはず😊



オンラインショップ

さつまいもの葉っぱとツルを食す

さつまいもって実は芋の部分だけじゃなくて、葉っぱやツルも食べられるって知ってましたか？
そういえば「戦時中はさつまいものツルを食べて飢えをしのいだ…」なんてのを聞いたことがある人もいられるかもしれません。そんな庶民的な印象のあるさつまいもの葉っぱとツルですが、実はビタミンCやミネラルが豊富に含まれていて、健康や美容の味方です！高知では郷土料理「いもの茎の炒め煮」として親しまれているそう。スーパーには売っていない葉っぱやツルを食べられるのは、栽培している人だけの特権ですね。



おひたしなども美味しいですが、ニンニクと一緒にごま油でさっと炒めただけでもとっても美味しいです。豚肉もちょっといれるとさらに食べ応えが増します。

栽培しているみなさん、ぜひ試してみてくださいね。

バケツ稲作 ~まめの木より~

まめの木の石崎です。茨城県のバケツには、トノサマガエルが住みつきました！！その名も「トノちゃん」。
6月のはじめに、家の庭にバケツを5つ設置しました。稲の成長を観察して1週間ほどすると、住宅街の中でどこからやってきたのか、トノサマガエルが現れました。最初は、庭のすみっこの方にいて隠れている様子でしたが、さらに1週間が経つと、わがもの顔でバケツに入って涼んでいました(笑)。
今では、「今日は何番目のバケツに入っているよ！」と家族みんなで、稲そっちのけでトノちゃんの観察をしています。小さな田んぼにも、生き物を引きよせる力があるようです。



自然ってすごいよ

自然栽培
七転び八起き



イチジクと虫の世界

滋賀のおもやでは、2020年ころからビニールハウスの無花果（イチジク）の樹に、カミキリムシの世界が完成されてしまいました。無数のカミキリムシの卵が3月から孵化して、毎日200匹以上の幼虫を針金でほじくって捕る作業をしています。これは夢にまで出てくるほど。正直、気持ちの良い仕事とは言えません。

2022年4月の栽培チャレンジ勉強会にて、愛知県豊田市で自然栽培のイチゴ栽培をしているみどりの里の野中さんのハウスを視察したところ、電撃殺虫器でヨトウムシを撃退することができ毎年の虫取りが劇的になくなったと教えてくれました。

これはカミキリムシほじほじ作業から解放されるかも！と思い、早速おもやのイチジクハウスにも電撃殺虫器を設置しました。



卵は産ませない！

その効果は！ダダーン！なんとびっくり、カミキリムシには全く効果はなかったです…！（一匹だけ、感電して失神していました…残念…）

野中さんのような成功談にはならず、せめて笑い話にできようと言いながら、出費に涙をのみました。

さて、イチジクの収穫がはじまる8月になりました。

例年収穫初期は、アザミウマという虫のせいですべてのイチジクの中身が黄色く、黒ずんでいるんですが、なんとその年は収穫初期でも8~9割が中身の綺麗な桃色のイチジクばかり！

電撃殺虫器はカミキリムシには効き目はなかったですが、アザミウマには最高の効果をもたらし、収穫初期から自信をもって出荷できる綺麗なイチジクができました。全国の取組を参考に自分たちのやり方を見つけられると嬉しいですね。

今年も綺麗なイチジクがお届けできますように。

もうすぐですよ。

（おもや杉田）

shizen saibai party discovery
若者が行く！
パーティの魅力発見記

リポーター しもしも（下田あかり）

進路に悩み中の農大4年生。生活介護の作業所で働く兄がいる。自分の学ぶ農業への違和感と、それとは違ってなんだか楽しそうなパーティの活動。これはなんだろう？いろんな施設にお邪魔させてもらいながら、パーティの魅力を発見します。



今回は、6月にお邪魔したハーブ農園ペザンの代表澤邊友彦さんにお話を聞きました！ペザンはハーブ農家として日々農福師さんを受け入れています。そこでの思いがけない学びやよろこび、気づきを教えてもらいました。

畑で記憶に残っているエピソードはありますか？



サワベさん

農福連携したてのときのエピソードが、自分の中ではやっぱり一番印象強いですね。草刈りをお願いしたら、自分の好きな草だけ刈って集めてきた利用者さんがいたんです。でもそれって、間違っていないんですよ。草は取っているから。笑
何のための草取りなのか、目的の説明が足らなかった。自分への反省とともに、その姿を見た瞬間の心が安らいで、たまらなく笑けたんです。「合ってるよ」っていうしか言えなかった。「合ってる、俺が悪かった。笑」って何かコントをしているような。



しもしも

笑けることって、やっぱり大事ですか？



サワベさん

農業って自然の環境に左右されるから、どうしても今日中にこれを採り終わらなあかん！みたいな切羽詰まった状況が起きやすいんです。だからこそ、肩の力が抜けるコントみたいなことが起きると、余計な「自分を追い込まねばならぬ…！」というところから徐々に解放されていくんです。利用者さんは本当に、癒やしてくれるハーブみたいですよ。



しもしも

農家として利用者さんを受け入れる中で、何か工夫していることはありますか？



サワベさん

作業中にどこまでできたかを、逐一報告してもらおうようにしています。これをするこの効果として大きかったのは、**ポジティブな会話**ができることです・・・



しもしも

・・・つづきはWEBで！



NEWS 事業の報告

定時社員総会が実施されました

2023年6月28日に定時社員総会が開かれ、2022年の事業報告および決算の報告を行い議案について承認されました。

にんにんにニコニコ大作戦 試作第一弾 (今枝さん)

人参ジュースの第一弾試作を作りました。生の人参に何も加えず、ピューレ、ペースト、濃縮したジュースの割合を変えながら味を試行錯誤しています。また、先日まめの木、イルカ作業所に人参の農業指導を実施しました。8月はピビファームにも実施予定です。

味噌づくり大作戦 加工場視察しました

石川のつばさの会の味噌加工場を視察しました。麴を生きたままにするこだわりの生味噌をつくっていて、自然栽培パーティオリジナル味噌も今後どのような味にするか相談していきます。

オンライン勉強会特別講演に関野幸生さんが登壇！

6/8(木)のオンライン栽培勉強会に、埼玉県の自然栽培農家の関野さんに登壇していただき、「種とり、輪作について、たい肥づくりについて」教えていただきました。(※会員限定でアーカイブ動画もあります。)

会員
限定

全国各地のお知らせ

【滋賀/おもや】「あるきだす」開所しました

滋賀県のおもやでは新たに、築120年の古民家を改修した地域の農福施設「あるきだす」をオープンしました。農作業を一緒にやって泊まったりもできるとのこと。ぜひ気軽に遊びに来てくださいね。

また、おもやでは無農薬のブドウがたわに実っています！買いたい方は、おもやキッチンまたは注文配送で購入できます。詳しくはおもやへ！

【熊谷/オランダ】森田さんがオランダに

さすらいの百姓こと森田早紀さんが8月末からオランダに旅して、現地のケアファームなどの取り組みを視察してきます。9月にはパーティ会員限定の現地オンラインツアーも実施予定です！

情報募集中！

各地域や施設の取り組みやイベントの情報をお待ちしております。新しくお店をオープンした、農作業イベントを開催する、商品や取り組みが表彰されたなど、みなさんにお知らせしたい情報があれば、事務局までメールでお知らせください。

自然と勝手に

会員交流情報



自然栽培パーティの磯部さんが北海道のJKファームに遊びに行きました。内藤さんがつくるさくらんぼ、ハスカップ、ラズベリー、カシス最高に美味しかったそうです。

EVENT イベント情報

【旬を旅する野菜セット<夏>】予約販売開始&出品者募集

全国の旬を詰め込んだ「旬を旅する野菜セット」は例年夏と冬の2回実施しています。みなさんの自慢のお野菜や加工品を出してみませんか？



【映画上映会情報】

自然栽培パーティの映画が以下の場所/日程で上映されます。
・8/20(日) 京都府亀岡市
詳細はWEBサイトをご確認ください。

【全国フォーラム】12/15(金)~16(土)に、石川県金沢市で開催します。

今年の全国フォーラムは、石川県金沢市で開催することとなりました。現在、企画内容について詰めているところですので、詳細が決まりましたらご案内します！ぜひ、12月は石川にみんなで集まりましょう！

今月のセレクトBOX販売中!



夏休みだ！
家族で楽しもう
DVDレンタルセット

事務局スタッフが一押しの商品を詰め込んだ今月のセレクトBOX。今回は通常の野菜セットに加えて、「家族で楽しもう！DVDレンタルセット」も販売します！暑い日には、お家でみんなで映画鑑賞はいかがでしょう？(1週間/1家族)

8.11発送

野菜セット

3,000円
(税込/送料別)

野菜&DVDレンタルセット

5,000円
(税込/送料別)



ネタ募集中

パーティ新聞をもっと面白くしていくために、ネタ/アイデア/ご意見を募集しています！ぜひ事務局にお寄せください。



自然栽培パーティ事務局

〒470-0376 愛知県豊田市高町東山7-43 jimukyoku@shizensabai-party.com
TEL 0565-45-7883 FAX 0565-45-7886

リニューアル第二号いかがだったでしょうか。

さて私事です。先日家を契約しました。サッカーコート一面分の農地と、同じだけの広さの山がついてくる築100年超の古民家です。事務局員として2年半自然栽培パーティに関わらせてもらっていてこの活動が大好きなのですが、涼しい室内でパソコンで仕事をやる一方、実は自身ほとんど農業をやっておりませんでした。ここに来ていきなり大地主となり、3m以上はありそうな急峻な法面を眺めつつ、この広さの管理を想像して恐れおののいています。これがまさに自然栽培をはじめようとパーティ会員になったばかりの人たちの不安か...!とやっと実感を持って気づくことができました。

これからは事務局員として、そして自然栽培はじめてた会員として、気持ちを新たにやっつけようと思っています。特に自然栽培を始めたばかりの会員さんたちがどうやったらうまくやっつけられるのか、パーティとしてできることは何か、これからより考えていきたいなと思っています。ぜひみなさんご意見があればお寄せください。みんなでパーティを育てていけたらと思っています。(事務局 相澤)